

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立直方高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ <input checked="" type="radio"/> V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立直方高等学校 生徒 534名 教職員 40名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( ) ② 行事名 ( クラスマッチ ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	東京オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高めるとともに、オリンピック・パラリンピック競技を体験することにより、競技運営や支えることの大切さ、競技で使用する用具やルールの理解を深める。また、スポーツを楽しむ心を育成する。
5 取組内容	○日時：令和2年9月9日～11日、11月6日 ○場所：体育館、グラウンド、講堂、直方市体育館  ○実施競技 ・バレーボール、卓球、バドミントン、ソフトボール、ハンドボール、ボッチャ  ○各競技の説明 ・ルール、特性について ・実施方法について ・審判の仕方について ・会場準備





<p>6 主な成果</p>	<p>テーマを「直高オリンピック 2020」としたことで、オリンピックへの意識を高めた上で、実施することができた。各競技を生徒主体で審判をし、運営した。支える側の重要性や競技の理解を深めることができた。また、お互いに競い合う中で、フェアプレイやスポーツを楽しむ心の育成がさらに向上する良い機会になった。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>多くの競技に触れさせることにより、競技の特性の理解やスポーツの楽しさを味わわせることができた。普段行うことのできないパラリンピック競技であるボッチャを行うことで、パラリンピックへの興味・関心を高め、生徒が運営や審判を行うことで「する」だけでなく、「支える」ことを経験し支える側の重要性にも気づかせることができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>〇スポーツに対する興味・関心が低い生徒への対応          スポーツが苦手な生徒もいるなかで、取り組む姿勢やルールを理解など、得意な生徒は積極的な姿勢がみられるが、スポーツが苦手な生徒については、積極性に欠ける部分があったように感じる。事前の指導の際に競技の理解についてもっと深めていく必要があると感じた。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>検討中</p>

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

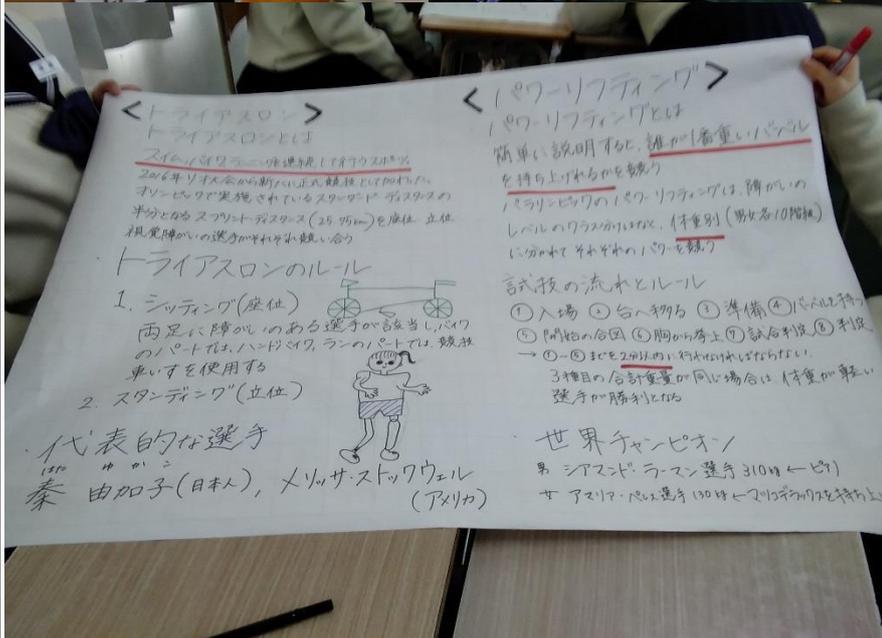
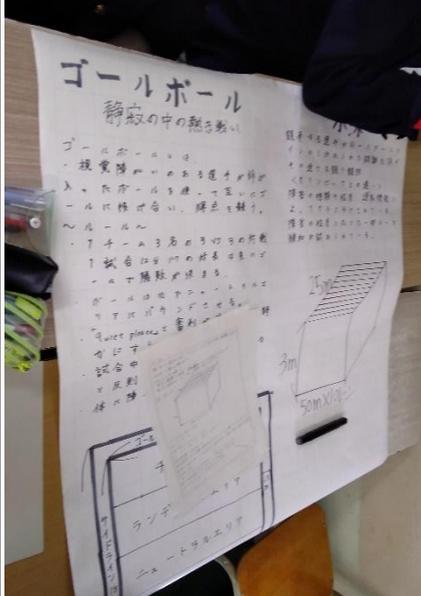
- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

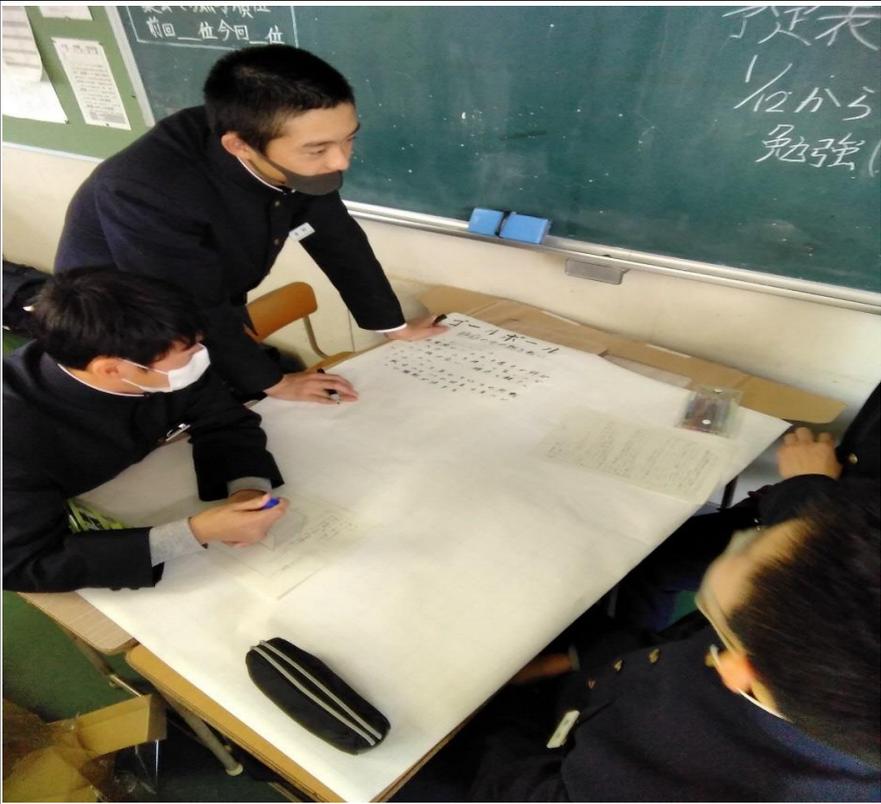
道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 福岡県立直方高等学校 】

1 実践テーマ	①・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	福岡県立直方高等学校 スポーツ科学コース1学年生徒 40名 教職員 2名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 ( スポーツ医科学演習 ) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの興味・関心を高めるとともに、パラリンピックの歴史を知り、競技で使用する用具やルールの理解を深める。
5 取組内容	○事前学習 ・オリンピック・パラリンピックの歴史について ・オリンピック・パラリンピック競技や追加種目について ・パラリンピックの価値 ・パラリンピック日本人選手の紹介  ○パラリンピックについての調べ学習（12月2日～1月20日） ・4人1組のグループを作り、1グループ3競技を調べ発表した。 ・調べる際は、パラリンピック資料とタブレットを使用した。

活動の様子



	
<p>6 主な成果</p>	<p>事前学習の際は、オリンピックに対する関心は高かったが、パラリンピックに対する関心は低く、選手や競技についての知識も少なかった。しかし、調べを進めていくにつれて、パラリンピックに対する関心が高まり、生徒からは「やってみたい」「こんなルールがあるのか」などの声があがった。新たな発見をしていく中で、積極的に取り組んでいく姿勢がみられた。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>グループに分けて調べる競技を割り振り、発表することにより、すべての競技を全体で共有することができた。また、パラリンピック競技の映像を見せることで、パラリンピック競技に対する興味関心を高めることができ、スムーズに調べ学習に取り組むことができた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>調べを進めていく際の資料や教材作り、指導法の工夫が必要であると感じた。競技を調べた上で、実際に実施するためには、場所や取り組み方を考える必要がある。</p>
<p>9来年度以降の 実施予定</p>	<p>検討中</p>